

# 私の学習法

石垣紀雄

## 1. まずは、授業で勝負

入試問題は、7割が1・2年生の範囲から出題されると言われますが、逆を返せば3年生の範囲が3割出題されるということです。ただでさえ忘れていた1・2年生の内容を復習することで手がいっぱいな私にとって、3年生の復習をやる時間はありませんでした。

では、「どうすればその必要がなくなるか」と考えると出た答えが、「授業で勝負する」ということでした。

- (1) 1日1日、毎時間の授業は、真剣に取り組みきちんと内容を理解する。
- (2) 先生や仲間の話は、聞き漏らすことなく大切なことはノートにメモを取る。
- (3) 板書事項は、整理してきちんとノートに書く。そのとき疑問に思ったことも記入し、その日のうちに友人や先生に質問をして疑問を残さない。

そんなことを心掛けて授業に臨んでいました。そして家に帰ってから、ワーク等を利用して簡単にその日の授業の内容を復習していました。

## 2. 次に、教科書で勝負

もちろん受験に向けて自分の希望する高校の過去問題集を購入して、きちんと取り組みました。しかし自分が一番力を付けたと思う学習は、「各単元の章末問題を解くこと」だったと思います。

参考書を利用して「各単元のまとめ」を覚えることも素晴らしい学習方法だと思います。「内容を覚える」→「問題を解く」のは、学習の基本だと思います。しかし、章末問題は各単元の中で特に重要な内容が出題されています。そのために章末問題を解くことで、その単元で重要な内容を理解することができると考えて取り組んでいました。もちろん分からないことや理解できない内容もありましたが、それはその単元の教科書さえ振り返り、見直しをすれば載っていることです。そこで教科書を利用して、理解できないところ、間違えた問題を再度やり直しました。

## 3. 3つ目に、定期試験で勝負

先生方は、教えた授業の中から「特に大切な内容」や「入試に合わせた問題」を定期試験に出題します。それならば教科書・教わったことの中で特に重要な問題だということが分かります。そのために試験が終わり返却されたら必ずもう一度やり直しを行いました。

解答と解説は授業中に行っているもので、できなかった問題を中心に確認を行いました。そして、「同じ問題、同じ傾向の問題が出題されたときは、必ずできる」こと心掛けました。

どの教科でも言えることと思いますが、「やった問題は、必ず答え合わせをして確認する」ことが大切です。特に、できなかった問題について「なぜ分からなかったのか」「どこで間違えてしまったのか」を確認することで、やりっ放しより記憶に残っているものです。そうすることで、次に試験されてもできるようになっていたように思います。

## 4. 最後に、場慣れで勝負

試験で緊張していると本来持っている力が発揮できず残念な結果になってしまうことが多いようです。そうならないためにも「場数を踏む」ことは、重要な入試対策だと考えます。本番の試験は、一回しかありませんがその本番に緊張しないために、できるだけ多くの会場テストを受けました。(お金のかかることですが・・・)

受検当日のように、試験会場に行き周りは違う学校の中学生という中で、自分の持っている力をどれだけ発揮することができるか。また、戻ってきた解答・解説に自分の弱点や今後の傾向等のアドバイスがなされています。それを自分の学習方法に取り入れて、入試対策に活かしていました。